



米沢市報道資料

上杉文書史料調査公開シンポジウムを開催します

令和8年1月16日

社会教育文化課 文化財担当

電話 22-5111 (内線 7531)

米沢市教育委員会では、令和3年度から7年度にかけて、文化庁の国庫補助事業を活用し、米沢藩上杉家に伝来した「上杉文書」(米沢市上杉博物館蔵)の詳細調査を行っています。

この度、調査報告書(史料目録)の作成にあわせ、調査成果に基づき、「上杉文書」の内容や特徴、国宝「上杉家文書」との関係等について報告するシンポジウムを開催いたします。

記

- 日時 令和8年3月15日(日) 13時30分(開場13時)から16時15分まで
- 場所 置賜総合文化センター 203研修室
(米沢市金池3丁目1番14号)
- 定員 70名
- その他 詳細は別紙チラシをご確認ください

「上杉文書」は、旧米沢藩主上杉家から米沢市に譲渡された史料群です。近世の米沢藩の藩政史料(公文書)をはじめ、中世史料や伊佐早謙の蔵書「林泉文庫」などを含み、上杉家及び米沢藩研究にかかせない重要な古文書群です。文書の他に、国絵図や城絵図などの絵図も多く残されており、史料の総点数は文書、絵図あわせて9,000点以上に及びます。

上杉文書史料調査 公開シンポジウム

— 「上杉文書」とは何か —



伊佐早謙編「編年上杉家記稿」

令和3年度から7年度にかけ、文化庁の国庫補助事業を活用し、米沢藩上杉家に伝来した「上杉文書」（米沢市上杉博物館所蔵）の詳細調査を行いました。

文書群の史料総点数は9,000点以上。報告書（目録）は文書編3冊、絵図編1冊となります。この調査成果に基づいて、史料目録からみえる上杉文書の特徴や内容、国宝「上杉家文書」との関係や、今後の研究の展望について報告します。

2026. **3.15** (日)

会場 置賜総合文化センター 203研修室
山形県米沢市金池3丁目1番14号
(0238-21-6111)

時間 開場 13:00 終了 16:15予定

入場無料 定員 **70** 名



御国絵図下図（一部）

絵図データ大公開！

高精細で撮影した絵図の画像をモニターやパネルで公開します。普段間近で見られない箇所も拡大してご覧になれます。

13:30～ 開会・趣旨説明

米沢市教育委員会 社会教育文化課

コメンテーター

菅野 正道 元仙台市史編纂室長

発表者・パネラー

角屋由美子 米沢市上杉博物館
上杉文化研究室長

「上杉文書」の成立と伝来、特徴

佐藤正三郎 米沢市上杉博物館
学芸員

「米沢藩」研究の多様な展望
～二代定勝から九代鷹山へ～

友田 昌宏 防衛大学校 准教授

目録から見える「上杉文書」の
可能性～幕末維新期を中心に～